

頁		誤	正
48	下から12行目	図 3-29	図 3-28
62	表 4-5 歯科用医療機器の 카테고리	被接触機器	非接触機器
70	表 5-5 3行目	$\gamma$ -メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	$\gamma$ -メタクリロイルオキシプロピルトリメトキシシラン
72	図 5-3	<p style="text-align: center;">b : UDMA</p> <p style="text-align: right;">分子量 : 470</p>	
73	下から19行目	アルミニウム (Al)	削除
78	上から3行目	適正な強さの 468 nm の可視光線	十分な強さの 468 nm 付近の可視光線
78	上から6行目	①硬化時間と硬化時寸法変化	①硬化時寸法変化
84	図 5-15	<p style="text-align: center;">MAC-10</p> <p style="text-align: right;">カルボン酸系</p>	
116	上から18~20行目	弾性ひずみの値が小さすぎると、印象を撤去するときにアンダーカット部の印象材を变形させるといふ弊害を生じる。逆に	削除
140	上から2行目	石膏粉末 100g に対する水の量 (mL) の比	石膏粉末の質量 (g) に対する水の量 (mL) の比
164	図 10-16, 17	三角組成図の目盛の向き	各元素の対辺と並行になるよう修正
181	下から3行目	(SmCO)	(Sm-Co)
181	下から2行目	(NdFeB)	(Nd-Fe-B)
206	図 11-17 欠陥名の上から9行目	鑄バリ	削除
247	上から17行目	セメントは、歯質ならびに歯科用非金属	セメントは、歯質ならびに歯科用非貴金属合金
255	図 14-11 タイトル	ポリアクリル酸共重合体	ポリアクリル酸
257	下から12行目	練和器具にガラスや金属製のものを使用すると	練和器具に金属製のものを使用すると
269	下から7行目	とくに直接覆髄に用いることが多い、修復象牙質形成の促進を期待できる。	水酸化カルシウムは強アルカリ性を示し、殺菌作用を有するとともに、修復象牙質形成作用がある。
270	上から4行目	水酸化カルシウム製剤よりも操作性において優れる。	削除
358	下から8行目	①光学式蝕蝕検出装置	①蝕蝕診断装置
366	上から3行目	1~2メガサイクル	1~2メガヘルツ (MHz)